

『長期療養重症心身障害患者における 悪性新生物に関する研究』 お知らせ

1. 実施目的について

悪性新生物, すなわち悪性腫瘍・がんの患者数は年々増え続け, 厚生労働省の調査でも今や男女とも死因の第一位となっています。長期療養中の重症心身障害患者さまの中には, 生活環境, 食生活などは限られるものの, 悪性新生物に罹患される方が時々いらっしゃいます。しかし, コミュニケーションがとりづらいこともあり, 自覚症状を確認することが難しく, 残念ながら発見が遅れる場合もあります。

悪性新生物は発見時期や罹患部位によって治療法や予後が大きく変わってきます。

そのため, 過去に当院入院中に悪性新生物に罹患された患者さまの治療録を調べ, まとめることで, 当院でできる早期発見に向けた検査方法を考え, 今後の対策をたてたいと考えています。さらに患者様の病態にあった苦痛を緩和するケアのあり方, 方法についても考えていきたいと思えます。

2. 実施内容について

方法は, 2006年から2016年3月末までに, 重症心身障害病棟に入院された患者さまのうち, 悪性腫瘍になられた方のカルテを調べ, その方のももとの病気(基礎疾患), 年齢, 性別, 悪性腫瘍発見の契機, 発見時の自・他自覚症状の有無, 画像所見, 診断結果, 病期, おこなった治療(緩和ケアも含む), その後の経過についてまとめ, その傾向を検討します。

カルテを実際に調べる作業を行う期間は, これより2017年12月末までです。

3. 研究代表者

丸箸 圭子(医王病院 第二小児科医長)

4. 調査対象期間

2006年1月1日から2016年3月31日までを調査対象期間とします。

5. 個人情報およびプライバシーの保護について

それぞれの患者さまの個人情報は, 個人が特定できないデータに変換された上で, データファイルが作成, 保存, 分析されます。この研究により, 個人情報やプライバシーの漏洩や公開は生じません。

この研究の成果は, 個人が特定できないデータとして, 学術的な場でのみ公表します。

6. 本研究に関するお問い合わせ

上記のように, 個人情報やプライバシーを保護した状態であっても, 調査対象となることを拒否される場合, また, この研究についてご質問がある場合には, 下記までお問い合わせください。

医王病院

小児科 丸箸圭子

国立病院機構 医王病院病院長

駒井清暢